別紙様式３(第14条関係)

遺伝子組換え実験報告書

年　　月　　日

長岡技術科学大学長　　　　殿

［実験責任者］

所属：

職名：

氏名：

　国立大学法人長岡技術科学大学遺伝子組換え実験安全管理規則第14条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 報告の種類 | 実験の区分  (注1) | 物理的封じ込め  (注1) | 公的経費  (注2) |
| □経過  □終了  □中止 | ・微生物を使用する実験  　□未同定核酸実験  　□同定済み核酸実験  　□大量培養実験  ・動物を用いる実験□作成□接種  ・植物を用いる実験□作成□接種□きのこ  　　　　　　　　　□細胞融合実験 | □P1　□LSC  □P2　□LS1  □P3　□LS2  □P4　□その他  □A措置(動物)  □特定飼育区画(動物)  □P措置(植物)  □特定網室(植物) | □有  □文科省科研費  □その他  　(　　　　　)  □無 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実験実施機関 | | 所在地 | (〒　　　　　) |
| 名称 |  |
| 代表者の職名・氏名 |  |
| 課題名 | | |  |
| 実験実施期間(注3) | | | 年　　月　から　　　　　　　　年　　月　まで |
| 実験責任者 | 所属部局の所在地 | | (〒　　　　　) |
| 所属機関・部局・職名 | |  |
| 氏名 | | TEL　　　　　　　　　FAX　　　　　　　　E-mail |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験場所 | 所在地 | (〒　　　　　　) | | |
| 名称 |  | | |
| 実験従事者 | 氏名 | 所属・職名(学年) | 宿主及びその取扱い経験年数(注4) | 遺伝子組換え実験  経験年数(注5) |
|  |  |  |  |
| 課題名 | |  | | |
| 実験の目的 | |  | | |
| 実験の概要 | |  | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供与体・ベクター・宿主の組み合わせ(注6) | | | | | | | |
| 核酸供与体  (注7) | 核酸の種類  (注8) | 未同定核酸実験に係る単離予定の核酸(注9) | 同定済核酸実験に係る供与核酸(注10) | 宿主  (注11) | ベクター  (注12) | 拡散防止措置のレベル  (注13) | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 遺伝子組換え生物等の管理 (注14)  ※実験終了時もしくは中止時にのみ記載 | 遺伝子組換え生物等の概要と保管・移管・処分方法(注15) | |  |
| 移管の場合の責任者  (注16) | 所属部局・職 |  |
| 氏名 |  |

本実験が大臣確認実験である場合に記入する。

|  |  |
| --- | --- |
| 第二種使用等の名称 |  |
| 大臣の確認を受けた年月日 |  |
| 確認に当たり報告の依頼を受けた事項及び当該事項に対する結果 |  |
| 当該第二種使用等の安全性評価に関する見解等 |  |
| 遺伝子組換え生物等の保存の有無及びその保存方法又は処分方法 |  |

系長

氏名

報告書記入要領

本様式の各項目に記入する。記入できない場合は別紙を添付し、該当項目に別紙番号を記入すること。

注1　本計画において該当する項目すべてにチェックを入れること。

注2　公的経費の有無について該当項目にチェックを入れるとともに、ある場合はその種類を記入すること。

注3　予定している実験実施期間(5年を限度とする)を記入すること。

注4　宿主として使用する生物種の取扱い経験の有無及び経験年数を記入すること。なお、宿主が微生物、動物、植物を同時に含む実験計画の場合は、その宿主毎について記入すること。

注5　遺伝子組換え実験の経験の有無並びに経験年数を記入すること。

注6　核酸供与体、ベクター、宿主の組合せ毎に番号、直線、罫線等でまとめ、相互の関連を明らかにすること。

注7　核酸供与体となる生物の種名又は系統名を記入すること。

注8　供与核酸について、ゲノムDNA、相補DNA、合成DNAなどの種類を記入すること。

注9　未同定核酸実験のときに該当。核酸混合物から単離しようとする核酸の名称を記入すること。

注10　同定済核酸実験のときに該当。使用する供与核酸の名称(公表されたものであれば文献等)を記入すること。

注11　宿主の種名、系統名又は培養細胞の名称等を記入すること。組換え体を動植物に接種する場合については、接種に係る動植物を　　で囲むこと。

注12　ベクターの名称を記入すること。

注13　組合せごとに拡散防止措置(P1からP4)及び宿主の実験分類(B2認定からクラス4)を記入すること。

注14　実験終了(中止)時に実験責任者の管理下にある遺伝子組換え生物等を記入すること。

注15　保管している遺伝子組換え生物等の①種類や数量、②保管・移管・処分の区分、③保存(移管を含む。)や処分の方法を簡明に記入すること。

注16　複数の者に分割して移管する場合は、別葉にて、その旨添付すること。